

2011年11月17日

報道関係各位

第10回 JCF 学生映画祭実行委員会  
実行委員長 高 秀蘭



**「第10回記念開催 JCF 学生映画祭 in Tottori」特別プログラム  
TOYOTA みんなのエコカー会議 × JCF 学生映画祭  
大学対抗 PHV いいね！ムービー アワード  
開催決定！**

**次世代エコカー「PHV（プラグインハイブリッド）」をテーマに、  
6大学がオリジナルムービーで真剣勝負！**

JCF学生映画祭は、1999年、夕張市が主催していたくゆうばり国際ファンタスティック映画祭の第10回記念特別協賛企画として、当時、949団体が加盟するJCF日本サークル連盟（JCFは、ジャパン・サークル&クラブ・フェデレーションの略）が、＜次代を担う映画監督の発掘と育成！＞をテーマに、第1回JCF学生映画祭を開催して以来、「学生映画の甲子園」として多くの才能を輩出し、本年いよいよ記念すべき第10回目の開催を迎えます。

記念大会となる本年は、「第10回JCF学生映画祭 in Tottori」として、鳥取県の特別後援の助成事業として、11月19日（土）・20日（日）の両日、鳥取県米子市のコンベンションセンターで学生コンペティションプログラム（学生映画、学生アニメ、鳥取県観光CMアイデアコンテスト）を中心に中国アニメ作品の大作の上映や、地元米子の映像・映画・音楽の上映やパフォーマンス、今一線で活躍する過去のグランプリ受賞監督を招いてのフォーラムなど、多彩なプログラムで開催いたしますが、この度、トヨタ自動車株式会社殿のご協賛を得て、次世代エコカー「PHV（プラグインハイブリッド）」をテーマに、首都圏の6大学（東京大学、早稲田大学、慶應義塾大学、上智大学、日本大学芸術学部、東洋大学）から選抜された学生チームが、オリジナルムービーで真剣勝負を行う、「大学対抗 PHV いいね！ムービー アワード」を、特別プログラムとして開催することが決定いたしました。

本映画祭では、＜学生よ！夢を忘れていないか！＞をキャッチフレーズに、日本の将来を担う若手クリエイターの発掘・育成を目指しておりますが、トヨタ自動車株式会社殿の協賛企画となる本プログラムも、次世代エコカーの魅力をテーマに、国内の主要大学から選抜された各大学の精鋭チームが、互いにクリエイティビティを競いあう、本映画祭の開催趣旨にふさわしいものとなります。

大学対抗 PHV いいね！ムービー アワードは、トヨタ自動車株式会社殿が運営するFacebookページ「みんなのエコカー会議」上で、11月16日に公開され、11月19日（土）より投票がスタートする予定です。

### <大学対抗 PHV いいね！ムービー アワードについて>

トヨタが第10回JCF学生映画祭と特別コラボして開催する「大学対抗 PHV いいね！ムービー アワード」。次世代エコカー「PHV（プラグインハイブリッド）」の魅力をテーマに、6つの大学からなる精鋭チームがオリジナルムービーを制作、優勝目指してクリエイティビティを競います。オリジナルムービーは、「みんなのエコカー会議」Facebook ページで11月19日より3つのテーマごとに順次公開され、Facebook ページ上での投票と、審査員による評価により、12月中旬に総合優勝が決定いたします。

■URL：[http://ja-jp.facebook.com/ecocarkaigi?sk=app\\_170491453025745](http://ja-jp.facebook.com/ecocarkaigi?sk=app_170491453025745)

### <PHVについて>

「PHV（プラグインハイブリッド）」は、電気自動車とハイブリッド車の「いいとこ取り」をした新しいエコカーです。

### <大学対抗 PHV いいね！ムービー アワード 参加6チーム>

- ・ 東京大学 放送研究会
- ・ 早稲田大学 広告研究会
- ・ 慶應義塾大学 広告学研究会
- ・ 上智大学 SBC×Bepro
- ・ 日本大学芸術学部 B.D.C演劇映画放送研究会
- ・ 東洋大学総合情報学部 藤本研究室

### <第10回JCF学生映画祭 in Tottori 開催概要>

●名称：第10回JCF学生映画祭 in Tottori <http://jcf.jpn.com/>

●開催日時：2011年11月19日（土）～11月20日（日）

●開催場所：米子コンベンションセンター 多目的ホール

〒683-0043 鳥取県米子市末広町294 TEL.0859-35-8111

●主催：JCF学生映画祭実行委員会

●特別顧問・実行委員

実行委員長：高 秀蘭（映画プロデューサー）

特別顧問：平井 伸治（鳥取県知事）／野坂 康夫（米子市長）／中村 勝治（境港市長）／石田 耕太郎（倉吉市長）／竹内 いさお（鳥取市長）  
藤原 洋（株式会社インターネット総合研究所所長／株式会社ナノオプトニクス・エナジー代表取締役）

実行委員：木村 政雄（5L編集長）／大和田 廣樹（映画プロデューサー）  
武内 英人（株式会社エフエム東京執行役員）／太田 雅人（株式会社GETTIGROUP代表取締役／JCF学生映画祭ファウンダー）

ゼネラルプロデューサー：額賀 剛治（株式会社JCF取締役）

●制作運営：(株)JCF・JCF学生映画祭運営事務局

●協賛：株式会社ナノオプトニクス・エナジー、トヨタ自動車株式会社

●特別後援：鳥取県

●後援：米子市、境港市、倉吉市、鳥取市、鳥取大学、鳥取環境大学、朝日新聞鳥取総局、毎日新聞鳥取支局、読売新聞鳥取支局、新日本海新聞社、BSS山陰放送、

山陰中央テレビ、日本海テレビ、日本海ケーブルネットワーク、エフエム山陰、DARAZ FM、鳥取県商工会連合会、鳥取県商工会議所連合会、社団法人米子青年会議所、財団法人鳥取県文化振興財団、ガイナレ鳥取

●特別協力：鳥取大学、夕張映画祭2011、日中アニメ産業連合会、GETTI GROUP

● 行事内容

【1】学生コンペティションプログラム（映画・アニメ・CMのジャンルで、学生監督が競います。）

(1)ガイナレソーラーpresents 学生映画 AWARD

(2)学生アニメ AWARD

(3)鳥取県presents 鳥取観光CMアイデア AWARD

(4)TOYOTA みんなのエコカー会議 × JCF 学生映画祭

大学対抗 PHV いいね！ムービー アワード

【2】特別プログラム（10周年特別企画で様々な企画がございます。）

(1)10周年特別プログラム 歴代JCF学生映画祭グランプリ受賞監督紹介

(2)米子特別パートナープログラム

●入 場 料：無料（入退場自由）

### <「JCF 学生映画祭」これまでの歩み>

JCF 学生映画祭は、1989年当時の竹下内閣の<ふるさと創生資金>の1億円を活用した地域振興という目的の為に、夕張市が主催・開催していた「ゆうばり国際ファンタスティック映画祭」（現在の同名の映画祭がありますが、主催形態が違います。）の10周年特別協賛企画として、1999年に<学生映画の甲子園>を合言葉に、当時の949団体のクラブ・同好会・サークルが所属する日本サークル連盟（Japan Club・Circle Federation）が主催した<ゆうばり国際ファンタスティック映画祭 特別協賛企画 第1回 JCF 学生映画祭>の流れを組み、第1回から第3回までを夕張市で開催、第4回は沖縄県那覇市と共催でアジア部門も拡充し、受賞監督に新作映画を製作支援するオキナワコンテンツラボを実施しました。第5回目は初の東京開催で、東京お台場の温泉施設「大江戸温泉」内で「世界初！豊の上で映画祭」を開催、2010年にLVMH（ルイヴィトン）映画祭で短編部門グランプリを受賞した月川翔君（当時成蹊大学在学）を輩出しました。第6回は愛知万博の公式プログラムとして、EXPOHALLで開催し、国際学生映画祭として世界各国の学生作品を集め世界のレベルを披露致しました。第7回は運営を完全に学生だけ行う形のフレームに移行し東京・上野の東京国立博物館で開催いたしました。その後、2007年の夕張市の財政破綻の報を聞き、2007年、2008年とこの映画祭が生まれた夕張の地に恩返しをしようということで、夕張国際学生映画祭2007・2008を夕張で開催致しました。

財政破綻の影響で中止になった「ゆうばりファンタスティック映画祭」も、地元NPO法人の運営により復活を果たし、夕張での学生映画祭の2年間の活動の成果も残せましたので、いよいよ学生映画祭として本格的に再開すべく、記念すべき10回目の開催地として、「環境立県」を掲げるecoのまちである鳥取県での開催を実施いたします。

■本件に関するお問い合わせ先

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-3 平河町伏見ビル9F 株式会社JCF内

第10回JCF学生映画祭 in Tottori 運営事務局

TEL. 03-3230-7770/FAX. 03-3230-7024

<http://jcf.jpn.com/>